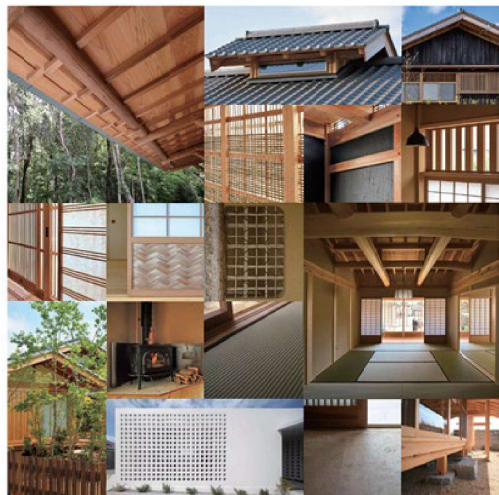
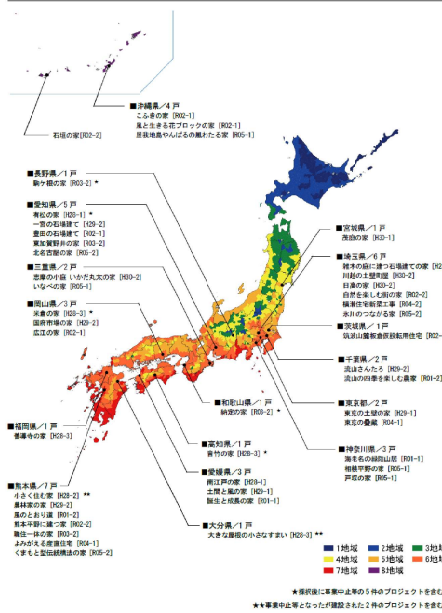


出所：「気候風土適応住宅」の解説 2024 年度版 一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター

気候風土適応型住宅 事例集



本事業採択住宅の対象地域及び戸数 (平成28年度～令和5年度)



- 1 エネルギー消費の実態【実測値の比較】
- 2 建設地を考慮したエネルギー消費量評価
 - 1 評価方法
 - 2 事業探採住宅の一次エネルギー消費量【実測値】
 - 3 省エネ基準VBE評価一次エネルギー消費量【建設地補正】の算出
 - 4 事業探採住宅の評価
- 3 まとめ

1 事業の概要

- 1 事業の応募・採択状況
2 事業の内容
3 事業の流れ
- 2 実施体制**
- 1 事業の基本的な実施体制
2 評価の実施体制

改正後の基準省令附則第2条 気候国土適応住宅の場合の外反基準の適用除外
告示第76号 気候国土適応住宅であり外反基準に適合させることが困難である住宅
改正後の算出告示 附則第2項 合理化された一次エネルギー消費量基準
国土建築第65号（技術的助言） 気候国土適応住宅の認定のガイドライン
国土建築第65号（技術的助言） 第3 2 気候国土適応住宅のモデルの例示

第1章 参考とした資料
第3章 参照とした資料

令和6年度国土交通省補助事業

The collage consists of 12 individual photographs arranged in a grid-like fashion. The images depict various architectural elements and interior spaces of traditional Japanese buildings. Key features include:

- Wooden Roofs and Eaves:** Several images show the intricate wooden joinery and dark, tiled roofs of traditional structures, often with wide, overhanging eaves.
- Shoji Screens:** Multiple photos feature sliding doors and screens made of light-colored wood frames with translucent paper (shoji), allowing natural light to filter through.
- Tatami Floors:** Interior spaces are shown with traditional tatami (straw mat) flooring, some with low wooden tables (kyozukue) and sliding doors.
- Wooden Interiors:** Close-up shots of wooden beams, pillars, and paneling, showcasing the craftsmanship of the construction.
- Traditional Furnishings:** One image shows a small, dark wooden stove (kama) with a fire burning inside, and another shows a low wooden table with a small lantern.
- Exterior Views:** Some photos provide glimpses of the buildings' exteriors, showing their integration with the surrounding natural environment, including trees and stone walls.

対象者	建築関係団体等
支援金	1自治体あたり 上限300万円
申請期間	令和6年7月～令和6年12月15日(予算達成次第終了)
申請方法	以下の専用ホームページをご確認ください。 https://www.kki.or.jp/kikouhuudo-jyutaku/sinsei.htm

実施団体 一般社団法人 環境共生まちづくり協会(kkj)

支援の概要

申請及び相談窓口

- 支援の申請窓口
- 独自基準の策定に関する相談窓口

令和6年7月5日



一般社団法人 環境共生まちづくり協会(kkj)
<https://www.kkj.or.jp/kikouhuudo-iyutaku/index.html>

問い合わせは、ホームページの「[お問い合わせフォーム](#)」よりお願いします。
電話 03-5579-8757 受付時間 10:30~16:30 平日(祝日、年末年始を除く)

昨年度のシンポジウム I 概要

本日の内容

- ①改めて考える気候風土適応住宅とは
- ②国が定める第一項の意味
- ③地域が定める第二項の価値と悩み



<https://www.kkj.or.jp/kikouhuudo-jyutaku/symposium.html>

動画外部サイトへ↓



日時：令和6年9月2日（月）13：15～17：00

会場：オンライン（zoomウェビナー）

📎 プログラム詳細（PDF）

- ▶ 当日の通信環境等により一部音声・映像の乱れが含まれますことご了承ください。
- ▶ 一部映像・発表資料を差し替えています。
- ▶ 長時間映像のため、一部カットしていますことご了承ください。
- ▶ また以下のとおり、チャプターを用意していますので、ご利用ください。

動画チャプター/発表資料

開会のあいさつ（8分）

地方独立行政法人北海道立総合研究機構理事
鈴木 大隆

住宅・建築物に関する省エネ基準の動向について（13分）

国土交通省住宅局参事官(建築企画担当)付
建築環境推進室 佐々木 雅也

『気候風土適応住宅事例集』の紹介（10分）

前掲 鈴木 大隆

・探沢住宅（15分）

一級建築士事務所大角雄三設計室 大角 雄三

・探沢住宅（30分）

有限会社建設工務店 榎部 孝司

気候風土適応住宅の事例紹介と今後の展開

・主に省エネ・環境の観点から（16分）

前掲 鈴木 大隆

・主に構造・生産体制の観点から

東京都市大学 名誉教授 大橋 好光

独自基準策定の事例

・長崎県（13分）

長崎県土木建築課審査指導室 係長 平山 隆一

・滋賀県（7分）

滋賀県土木交通部建築課建築指導室 副主任 辻 朋美

『気候風土適応住宅の独自基準策定の支援』紹介（6分）

一般社団法人 環境共生まちづくり協会 事務局

独自基準の策定についての調査集計結果（2分）

ディスカッション（47分）

司会 鈴木 大隆・大橋 好光

大角 雄三

榎部 孝司

平山 隆一

滋賀県土木交通部建築課建築指導室 主幹 乾 真康

公益社団法人日本建築士会連合会環境部会 副部長 篠 節子

閉会のあいさつ（3分）

前掲 大橋 好光

所管行政庁における独自基準の設定状況



- 気候風土適応住宅は、国土交通大臣が定める基準のほかに、所管行政庁がその地域の自然的・社会的条件の特殊性に応じて、独自基準を定めることができる。
- 所管行政庁による独自基準について、令和7年9月時点で33行政庁が運用を開始し、25行政庁が検討中。

運用時期	基準を定めた所管行政庁	対象地域	規模・構造	主な独自仕様	共通的な仕様
R3年4月	熊本県（県及び熊本市、八代市、天草市）	県内全域	木造住宅 ※規模は問わない	・くまもと型伝統構法による木造建築物（構造材は県産木材とする等）	・県産木材の使用 ・伝統的な継手仕口 ・石畳建て等の開放的な床下 ・深い庇 ・通風に配慮した窓
R4年3月	宮崎県（県及び宮崎市、延岡市、都城市、日向市）	県内全域	延べ床面積300㎡未満の木造住宅	・軒裏が野地板現し ・瓦屋根、茅葺屋根	・深い庇 ・通風に配慮した窓
R4年4月	福岡県（県及び九州市、福岡市、久留米市、大牟田市） ※後年度運用開始	県内全域	延べ床面積300㎡未満の木造住宅	・外壁の過半が県産木材による板張り壁 ・瓦屋根	・深い庇 ・通風に配慮した窓
R4年12月	沖縄県（県及び那覇市、うるま市、宜野湾市、浦添市、沖縄市） ※後年度運用開始	県内全域	延べ床面積300㎡未満の木造住宅 ※構造は問わない	・花ブロッコ、ルーバー ・屋上緑化、壁面緑化	・深い庇 ・通風に配慮した窓
R4年12月	埼玉県（特定行政庁及び限定特定行政庁を除く） ※県民運送機関	県所管内	延べ床面積300㎡未満の住宅	・柱の小径は原則12.0cm以上の軸組構造 ・外皮平均熱貫流率（U _a 値）を1.54W/mK以下	・県産木材の使用
R6年4月	長崎県（県及び長崎市、佐世保市、島原市、大村市、平戸市、松浦市、五島市） 鹿児島県（県及び鹿児島市、鹿児島市、薩摩川内市、霧島市）	県内全域	延べ面積が300㎡未満の木造住宅	・軒の出が0.9m以上 ・6畳以上の畳の幅又は5㎡以上の土間 ・柱・土台に県産材の使用	・手刻み加工による、伝統的な継手仕口 ・通風に配慮した開口
R7年4月	富山県（県及び富山市、高岡市） 滋賀県（県及び大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、東近江市）	県内全域	木造住宅 ※規模は問わない	・貫工法等、土間設置、床下が開放的であること ・主たる居室が半縁天井または網代天井 ・縁側を設け、室内側に多層構成の建具 ・県産材を7.5㎡以上使用 ・柱芯から垂木などの支持材の先端までの長さが0.9m以上の軒 ・自然通風を配慮した複数の窓	・深い庇 ・通風に配慮した開口
R7年度中	埼玉県飯能市、岡山県津山市				
時期未定	埼玉県東松山市、群馬県みどり市、長野県、静岡県、愛知県、三重県、石川県金沢市、岡山県（県及び岡山市、倉敷市、玉野市、新見市）、徳島県、香川県、大分県（県及び大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、宇佐市）、佐賀県（県及び佐賀市）				

令和6年度「気候風土適応住宅基準の検討状況に係る調査(令和6年8月時点)」



シンポジウムⅡ 本日のメインテーマ

昨年からの変化

- ・いくつか検討が進んだこと
- ・2025.4 建築ルールの転換など

行政庁が定める独自基準策定

- ①地域の特殊性の発見
- ②メリットとは
- ③普及展開で考えるべきこと
- + α その他 時間があれば

13：15	1 開会のあいさつ	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事 鈴木 大隆
13：20	2 住宅・建築物に関する省エネ基準の動向について	国土交通省住宅局参事官（建築企画担当）付 課長補佐 山中 悠己
13：35	3 「独自基準」等の事例紹介（R6活動報告とR7独自基準等の紹介）	・長崎県 ・滋賀県 ・宮崎県 ・沖縄県 長崎県土木部建築課審査指導班 係長 平山 隆一 滋賀県土木交通部建築課建築指導室 副主幹 辻 朋美 宮崎県県土整備部建築住宅課 課長補佐 田河 真司 沖縄県土木建築部建築指導課指導班 主任 金城 樹
	～ 休憩 ～	
14：25	4 ディスカッション	司会 鈴木 大隆 コメンテーター 東京都市大学 名誉教授 大橋 好光 アンケート調査結果の質問説明 事務局 ・長崎市 ・滋賀県 ・宮崎県 ・沖縄県 長崎市建築部建築指導課 係長 森岡 実 滋賀県土木交通部建築課建築指導室 参事 中山 幸二 宮崎県県土整備部高鍋土木事務所 副主幹 河野 裕一郎 前掲 金城 樹 特定非営利活動法人 蒸暑地域住まいの研究会 金城 優
16：00	5 独自基準の支援活動のご案内	事務局
16：10	6 閉会のあいさつ	前掲 大橋 好光
16：15	終了	